

下 水 道 課

管 計 工
理 画 事
係 係 係

管 理 係

1 多摩川上流流域下水道

(1) 51年度の事業概要

種 別	工 事 概 要	金 額
管 渠 施 設	多摩川上流幹線 内 経 1 5 0 0 mm 8 3 5 m	千円 1, 3 4 1, 2 3 8
	残堀川幹線 内 経 8 0 0 ~ 2 8 0 0 mm 1 8 8 5 m	
処 理 場 施 設	土 木 工 事 水 処 理 施 設 汚 泥 処 理 施 設	1, 7 5 7, 0 6 6
事 務 費 等	事 務 費 ・ 補 償 費	2 6 4, 7 1 8
合 計		3, 3 6 3, 0 2 2

(2) 福生市の負担金

内 訳	負 担 金 額
主要排水施設建設費	4 7, 8 9 8
終末処理場建設費	3 1, 4 8 9
事務諸経費	1 7, 1 4 1
補 償 費	3 4 6
前年度過不足負担額	3, 6 4 4
合 計	1 0 0, 5 1 8

2 青梅、羽村、福生地区都市下水路組合

都市下水路の建設事業は、昭和36年5月23日、青梅市、羽村町、福生町の当時1市2町により一部事務組合を設置し、昭和36年10月27日に計画決定及び事業決定がなされ、直ちに事業に着手し、昭和42年をもって、7年にわたる事業を完了した。

(1) 昭和51年度中における排水施設改善状況

	工場排水	その他の排水
全施設の改善命令	2件	2件
一部施設の "	8	1

(2) 都市下水路組合の概要

ア 組合設立 昭和36年5月23日

イ 構成団体 青梅市 羽村町 福生市

ウ 都市下水路の規模

(ア) 路線延長 7,377.26m

形式	寸法	延長
短形渠	3.3 × 3.3 m	832.62 m
"	3.0 × 3.0	1,250.64
"	3.0 × 2.1	112.30
"	2.4 × 2.4	346.20
"	2.1 × 2.1	408.00
管渠	2.0	153.90
棚渠	3.0 × 3.0	4,183.60
吐口	$\frac{5.34}{3.45}$ × 3.15	90.00

- (イ) 排水面積 西武蔵野排水区 977 ha
 青梅市402.13 ha 羽村町438.4 ha 福生市136.47 ha
- (ウ) 執行年度 昭和36年度～昭和42年度
- (エ) 事業決定 昭和36年10月27日 建設省告示2413号
- (オ) 都市下水路の決定 昭和45年2月10日

エ 水質検査所の規模

総面積 187.50 m²
 事務室・検査室 160.00 m²
 車 庫 27.50 m²
 構造 鉄骨平屋造り

オ 昭和51年度関係市町分担金

青 梅 市 26,365 千円
 羽 村 町 17,731 千円
 福 生 市 12,237 千円

3 多摩川上流流域下水道促進協議会

本会は、東京都の施行している多摩川上流流域下水道事業の早期完成と、経済的効果的事業の推進を図るため、昭和47年立川、昭島、福生、武蔵村山、羽村、瑞穂の7市町により発足をした。

(1) 実施事業

- 多摩川上流流域下水道残堀川幹線ルートである都市計画道路を早期に着手に関する要望。
 (東京都知事他)
- 多摩川流域下水道の整備促進に関する要望及び国費配分の増額に関する要望(建設省・大蔵省)
- 多摩川上流流域下水道残堀川幹線の促進について打合会
 (東京都建設局 北多摩北部事務所 流域下水道本部)
- 大阪府豊中市において猪名川左岸流域下水道を研修視察

(2) 多摩川上流流域下水道事業負担金に係る基地見舞金

管 渠

排除面積	基地面積	基地比率	市分担金	基地分
918 ha	329 ha	35.8 %	24,168千円	8,652千円
17	0	0	601	0

処 理 場

排除人口	市汚水量	基地汚水量	基地比率	市分担金	基地分
61,000人	27,000 m^3	4,777 m^3	17.6 %	40,837千円	7,187千円

合 計

市分担金	基地分
65,606千円	15,839千円

注

- 1 管渠欄の上段は、多摩川上流幹線、下段は残堀川幹線
- 2 基地内計画人口密度 33人/h a
- 3 計画汚水量 440ℓ/日/人

4 起債の状況

(1) 起債の状況

事業名	許可額	資 金 区 分			
		大 蔵 省	公 営 企 業 金 融 公 庫	埼 玉 銀 行	東 京 都
公共下水道事業	千円 340,000	千円 85,300	千円 204,700		千円 50,000
流域下水道事業	96,600	20,500	49,800	千円 14,300	12,000
合 計	436,600	105,800	254,500	14,300	62,000

(2) 起債額の状況（昭和51年迄累計）

区 分		借 入 元 金	償 還 済 元 金	未 償 還 元 金
目 的 別	公共下水道事業	675,600千円	0千円	675,600千円
	流域下水道事業	408,400	1,846	406,554
合 計		1,084,000	1,846	1,082,154
借 入 先 別	大 蔵 省	487,800	0	487,800
	公 営 企 業 金 融 公 庫	302,000	0	302,000
	埼 玉 銀 行	172,200	0	172,200
	東 京 都	122,000	1,846	120,154
合 計		1,084,000	1,846	1,082,154

計 画 係

1 福生市公共下水道計画

計画の概要（昭和48年度～昭和60年度）

項 目	数 値	摘 要
計画処理区域	991.4 ha	全区域自然流下
計画排水区域	953.9 ha	合流区域を除いた面積
計画処理人口	61,000 人	流域下水道計画
下水排除方式	分流式 953.9 ha	
	合流式 37.5 ha	
家庭汚水量	日平均汚水量 360 ℓ/日/人	} それぞれ地下水量 40 ℓ含む
	日最大 " 440 "	
	時間最大 " 640 "	

第一期事業概要（昭和48年度～昭和52年度）

項 目	数 値
予定処理区域及 び予定排水区域	汚水 131 ha
	雨水 126.56 ha
管渠の延長	汚水 38,025 m
	雨水 20,798 m

2 公共下水道実施設計委託

第一期事業計画に基づき、より一層強力に事業を推進する為には、それに見合う実施設計が必要である。

このため本年度は、次の実施設計及び調査について委託した。

名 称	金 額	内 容
福生中部1号幹線実施設計	2,600千円	延長約1,719m内経350~1000
” 2号 ”	980	延長約 650m内経250~600
污水管及びポンプ施設実施計画	5,000	延長約3,600m内経250~500 ポンプ施設1箇所
本町幹線排水路に伴う基本調査	3,800	一 式

3 第二期事業認可設計業務委託

第一期の事業認可区域は昭和48年度から昭和52年度迄の5か年をもつて認可されていますが、引き続き事業を施行する為には、第一期事業認可区域外についても、認可を取らなければなりません。

そこで第二期事業認可設計業務を昭和50年度、及び昭和51年度の2か年の継続事業で委託した。

なお、設計業務の完成により、今後は関係機関と協議を行い、昭和52年度中に第二期の事業認可を得る予定であります。

委託精算金額 23,773 千円

工 事 係

1 公共下水道工事

工事名称		場 所	金 額	内 容	
福 生 南 部 第 一 処 理 分 区 S 1 51	その1	熊川地内	39,870千円	Φ500~Φ600 マンホール 汚水ます	309.8 m 8
	その2	牛浜地内	1,650	Φ250 マンホール 汚水ます	52.5 m 2 8
	その3	牛浜地内	18,000	Φ250 マンホール 汚水ます	342.75 m 10 12
	その4	本町志茂地内	26,500	Φ250 マンホール 汚水ます	581.25 m 14 22
	その5	福生地内	15,930	Φ250~Φ350 マンホール 汚水ます	537.4 m 16 48
	その6	福生地内	15,100	Φ250 マンホール 汚水ます	630.4 m 19 43
	その7	福生地内	25,500	Φ200~Φ250 マンホール 汚水ます	974.5 m 25 86
	その8	本町地内	17,550	Φ250 マンホール 汚水ます	717.0 m 22 27

工事名称	場 所	金 額	内 容	
福生南部第一処理分区 S 51	その9	福生地内	1,935,000千円	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 703.4 m マンホール 23 汚水ます 56
	その1'	熊川地内	1,590,000	$\Phi 250$ 63.0 m マンホール 3 汚水ます 8
	その3'	牛浜地内	118	$\Phi 200$ 4.3 m
	その5'	福生地内	1,750	$\Phi 250$ 20.0 m マンホール 1
	その6'	福生地内	5,070	$\Phi 200$ 161.0 m 汚水ます 6
	その8'	本町地内	7,400	$\Phi 200$ 144.5 m マンホール 2 汚水ます 17
福生中部処理分区 S 51	その1	福生地内	2,625,000	$\Phi 450$ 291.0 m マンホール 7
	その2	福生地内	3,960	$\Phi 50$ 247.35 m マンホール 8
	その3	福生地内	1,949,000	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 646.6 m マンホール 27 汚水ます 71
	その5	福生地内	8,780	$\Phi 250$ 287.5 m マンホール 11 汚水ます 19

工事名称	場 所	金 額	内 容	
福 生 中 部 処 理 分 区 S 51	その6	福生地内	2 1, 5 3 0 千円	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 8 3 6.4 m マンホール 3 1 汚水ます 6 9
	その7	福生地内	1 5, 3 0 0	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 6 6 1.7 m マンホール 1 8 汚水ます 5 1
	その8	福生地内	1 7, 2 0 0	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 7 5 4.9 m マンホール 2 1 汚水ます 6 2
	その9	福生地内	3, 2 5 0	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 1 6 1.0 m マンホール 5 汚水ます 1 7
	その10	福生地内	2 4, 3 0 0	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 9 4 1.9 m マンホール 2 5 汚水ます 8 6
	その11	福生地内	1 6, 7 8 5	$\Phi 200 \sim \Phi 250$ 6 3 6.0 m マンホール 1 9 汚水ます 8 6
	その12	福生地内	1 7, 3 1 0	$\Phi 250$ 6 2 4.6 m マンホール 1 6 汚水ます 2 3
	その1'	福生地内	1 4, 3 0 0	$\Phi 250$ 6 8.5 m マンホール 4 汚水ます 1 9

工 事 名 称	場 所	金 額	内 容
福生南部第2処理 分区S-51その1	熊川地内	5,400千円	Φ250 229.5m マンホール 9 汚水ます 1
福生南部第2処理 分区S-50推 進	熊川地内	152,900 (107,900)	Φ800 343.0m マンホール 4 50年 51年 2箇年事業
市道1006号線 排水管埋設	牛浜地内	7,900	Φ250~Φ350 235.6m マンホール 9 汚水ます 14
道路標示設置	市 内	450	一 式
舗 装 工 事	牛浜地内	1,400	面 積 339 m ²

○ 公共下水道工事(汚水管のみ)年次別状況

	48年	49年	50年	51年	計
管渠布設面積ha	4	14	37	40	95
管 渠 延 長 m	1,009.4	3,149.75	9,937.0	11,399.3	25,495.45
マ ン ホ ー ル	40	132	346	337	855
汚 水 ま す	109	326	891	836	2,162
工 事 費 千円	24,320	84,810	284,370	398,143	791,643

(起債対象事業分)

2 横田飛行場排水路事業

(1) 中央幹線支線排水路

名 称	場 所	金 額	内 容
推 進 工 (その 1)	福 生 地 内	7 2,0 0 0 千円	Φ1,5 0 0 1 6 4.2 6 m マンホール 2
推 進 工 (その 2)	福 生 地 内	8 8,0 0 0	Φ1,5 0 0 2 0 4.1 2 マンホール 1

※ 5 0 年、5 1 年度の2 箇年継続事業

(2) (武蔵野幹線排水路) シールド工事内径 3,5 0 0 mm

工区別	場 所		そ の 1	そ の 2	そ の 3	合 計
第一工区	熊川地内	金額(千円)	619,211	97,480	307,500	1,024,191
		延長(m)	235.0	76.5	93.75	405.25
第二工区	熊川地内	金額(千円)	667,688	98,100	362,400	1,128,188
		延長(m)	247.0	68.0	92.5	407.5
第三工区	熊川地内	金額(千円)	466,533	232,310	278,400	977,243
		延長(m)	279.5	68.2	62.6	410.3

(その1、その2 工事については、昭和4 9 ~ 5 0 年度、その3 工事については、昭和5 0 ~ 5 1 年度の2 年度事業である。)

工事名	場 所	金 額 (千 円)	延 長 (m)	内 容
その4	熊川地内	5 5 5,3 0 0	3 2 4.2 5	シールド工内径 3,0 0 0 mm ボックスカルバート工 回 2.5 m × 4.5 m ~ 回 3.6 m × 6.0 m

(本工事については、昭和5 0 ~ 5 1 年度の2 年度事業である。)